

令和2年度 関東森林管理局保護林モニタリング評価委員会 議事概要

日時：令和3年3月2日（火） 13時30分～15時00分

場所：関東森林管理局 5階 中会議室及び

Web 開催（群馬県前橋市）

(1) 令和2年度保護林モニタリング調査結果及現状評価について

- ・保護林モニタリング調査のデータを森林生態系多様性基礎調査で活用できないか。また、炭素蓄積量・吸収量の推定で天然林の場合に多様性基礎調査のデータを活用しようという話があるが、多様性基礎調査のデータでは保護林のような状態の良い林分のデータが少ないので、保護林調査の情報を関係各所に共有してほしい。
- ・モミ林は一般的に稚樹や実生が良くみられる性質にあるが、今年度の伊豆地方の保護林で見られないのはニホンジカによる影響がかなり強いという印象を受けるので、注意深くモニタリングしてほしい。
- ・伊豆地方についてはニホンジカによる被害が継続するとミヤマシキミ自体も衰退している状態になっている場合があるので、今後の調査でも留意してほしい。
- ・猫越ウラジロガシ希少個体群保護林について、前回調査も含めてカシノナガキクイムシによる被害の拡大状況が分かるように調査結果を整理した方がより良い。

(2) 生物群集保護林の地帯区分（案）について

- ・質疑応答なし。

(3) 令和2年度緑の回廊モニタリング調査結果及び現状評価について

- ・緑の回廊三国線について、概況調査ではニホンジカの痕跡は見られなかったとあるが、三国山のニッコウスゲの群落にはかなりのニホンジカ被害が出ている。概況調査結果と地元や他の事業との認識のズレは埋められるようにしてほしい。
- ・カシノナガキクイムシの被害の前線を把握するために、データを活用できるようにしてほしい。

(4) 令和3年度保護林等モニタリング調査について

- ・質疑応答なし。

(5) その他

- ・保護林の植生帯の評価が把握しやすくなると思うので、各保護林の標高の幅を追記してほしい
- ・わかる範囲でニホンジカの密度を載せてほしい。
- ・九州森林管理局ではシカ被害をレベル区分し、対処方法等を検討している。参考にしてほしい。
- ・保護林設定当時の資料は今でも局に保存してあると思うが、当時の写真資料などは残っているのか。シカの影響がなかった時の記録写真は非常に重要だと考える。